

事業所名		世田谷区発達障害相談・療育センター				支援プログラム（放課後等デイサービス）				作成日		2024 年		9 月		1 日					
法人（事業所）理念			①住み慣れた地域で自分らしい生活を安心してできるようになるため、一人ひとりの発達や状況に合わせて、子どもの成長を支援する。 ②検査・遊び・対話などによって見立てを行い、療育プランを作成し、その療育プランに基づき療育を実施する。 ③子どもへの支援だけではなく、保護者支援、関係機関連携を含め3本柱として実施し、生活に根ざした支援を行う。																		
支援方針			①早期に必要な支援に繋がることができる支援を行う。 ②当事者・家族の困り感に寄り添う支援を行う。 ③地域で適切な合理的配慮を受けることができる支援を行う。 ④ライフステージを通した支援を行う。																		
営業時間			月曜日～土曜日				9 時		から		19 時		まで		送迎実施の有無			あり		なし	
			支 援 内 容																		
本人支援	健康・生活		・自身の基本的生活習慣がわかり、対応したり、見通しを持って自立的に行動したりできるよう、自分を振り返る場を提供し、助言を行う。 ・自身の安心した環境や、落ち着ける環境を知り、調整することができるよう、自己理解を促す活動を取り入れる。																		
	運動・感覚		・必要により作業療法士による評価を行い、運動が苦手な子も「楽しい」と思える運動遊び（感覚統合を促す遊び）を実施する。 ・自身の役割やルールを理解して小集団の運動を楽しむことができるよう、ルールのある運動課題を設定する。 ・細かいビーズなどをつまんだり、操作し、手指の繊細な動きを養う活動を取り入れる。 ・多様な動きを経験する中で体の動きを調整する力を育んでいく。																		
	認知・行動		・自身の性格や特徴を理解し、自身についての質問に答える機会を提供する。（自己理解力） ・小集団でゲームを行うことで勝ち負けを理解し、勝ちにこだわりながらも、負けを受け入れることができる力をつけていく。（気持ちのコントロール） ・状況の理解や予測をし、優先順位をつけるなど、見通しを持って行動する力がついていくよう、課題の内容や予定など丁寧に説明し、取るべき行動を確認する。																		
	言語・コミュニケーション		・必要により言語聴覚士による評価を行い、適切な見立てを実施する。 ・相手の気持ちを理解し、他児を励ましたり、慰めたりする経験を積めるよう支援する。 ・日常の出来事や、自身の気持ちを言語化し表現することができる時間を設定し、周囲に理解してもらうことや共有することの楽しさを知れるようにする。 ・一斉指示を理解し、自発的に行動にうつせるよう、分かりやすい言葉掛けや工夫をしていく。 ・年齢や特性に応じた読み書きを経験する。また、必要により「学び方療育」の機会を設定し、実施する。																		
	人間関係・社会性		・慣れた支援者や小集団の仲間と一緒に活動をしていく中で、親しみや関わりを深く信頼関係を持てるようにする。 ・小集団のメンバーと協力したり、工夫することで「一緒にやったらできた」と達成感を感じられるようにする。 ・状況を見て臨機応変に対応する力を養う。 ・集団での調理や制作等、役割分担のある作業や共同作業を経験できるようにする。																		
家族支援			・検査や、対話・遊びの中から見立てを行い、家族へのわかりやすいフィードバックや支援方法を提示する。 ・お話し会や講習会などを実施し、子どもの特性理解を促すとともに、保護者同士の情報共有の場を設ける。 ・利用児の所属機関での様子を伺い、日常生活に根ざした支援を行う。									移行支援			・就学や進学に向けて、関係機関に丁寧な情報提供を行う。必要があれば情報提供書を作成する。 ・必要に応じて所属の園や学校に訪問し、具体的な支援方法を伝える。						
地域支援・地域連携			・関係機関や所属の学校等への訪問や連携を行い、それぞれの機関で得られた情報を共有することで、特性理解に努める。 ・講演会や支援者向け研修講座などを開催し、特性の理解や関わり方のポイントについて支援者へ助言を行う。									職員の質の向上			・事業所内研修（虐待防止・安全衛生・療育実践研修）や外部研修に積極的に参加し、専門性を高めるとともに支援技術の向上に努める。 ・他事業所の見学や連携会議を実施し、情報交換を図り、地域の先進的な取組みを把握する。 ・心理士を中心に心理検査（WISC-V等）のできる人材を、外部研修やOJTで育成する。						
主な行事等			・利用児者向け：長期休暇を使ったイベント、中高生向けお話し会 ・保護者向け：区民向け学習会、ペアレント・プログラム、お話し会（保護者の懇話会）、講演会 ・支援者向け：支援者研修（人材育成）、講演会、関係機関学習会（ライフステージを通して支援を考える会）、学校等に対する講師派遣、出前型学習会																		